



木田のぼる

創刊号

県政に向かって走る

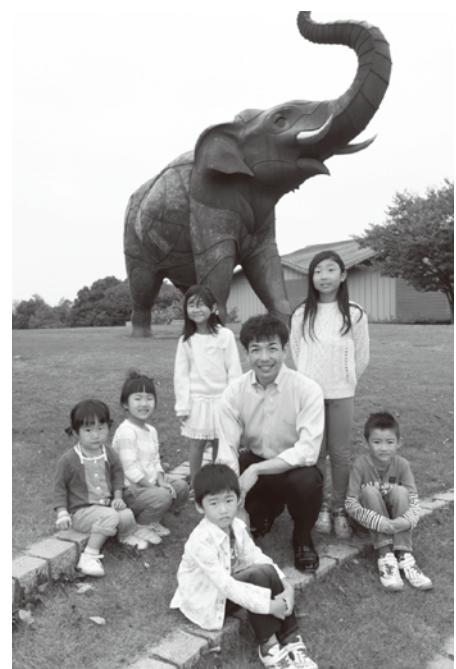


木田のぼる後援会

県政へのチャレンジを決意

「木田のぼる」は、竹田市（田町）で生まれ育ち、竹田高校を卒業した後に、大分大学へ進学のため大分市へ居を移し、大分市役所に就職して以来 24 年間、市民サービスの最前線で多くの行政分野に携わってきました。これまでに出会った仲間との絆に支えられ、現在も大分市（南大分）で家族と暮らしています。

家庭を持ち、子どもを育てていくなかで、「子や孫の世代に笑顔と活気あふれる大分を残したい」との思いが強くなり、これまでの経験を活かして県政の場で実現をめざすことを決意し、昨年 9月末に大分市役所を退職しました。



あす くらしに笑顔 未来への大分

日本は今「人口減少社会」を迎えており、私たちが暮らす大分もこの大きな課題に直面しています。

私たちの生活に必要な病院や学校、産業や雇用をどのようにして確保していくのか、地域の実情に応じた、新たなまちづくりのグランドデザインを描くことが必要です。

大分市では、今春に駅ビルや県立美術館がオープンします。

これを契機にもたらされる中心市街地の賑わいを継続させ、その効果を市全体へ波及させていくことが必要です。そのため、都市の活力を支える地域経済の活性化は欠かせない課題です。

「木田のぼる」は、郷土を愛する一人として、人口減少社会を克服するため、「くらしに笑顔 未来への大分」を皆さんと一緒につくりたいと考えています。

南大分に事務所を開設しました

お近くに来た際には、どうぞお気軽にお立ち寄りください。



この看板が目印です

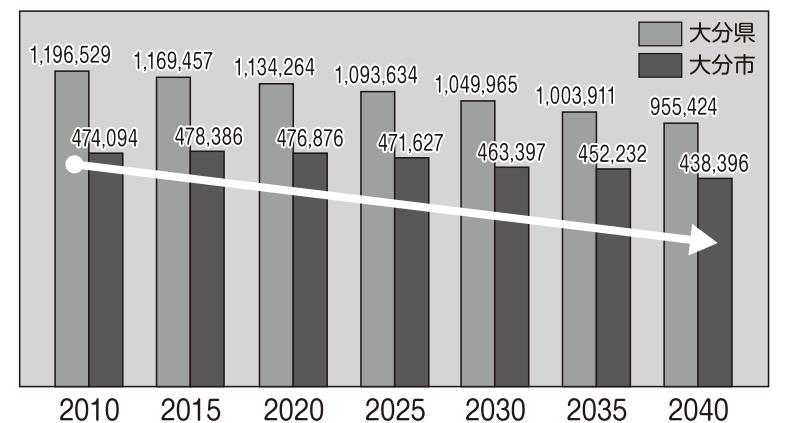


人口減少に対応したまちづくりを

日本の人口は2008年をピークに減少に転じており、2040年には全国約1800市町村の半数が消滅するおそれがあると言われ、大分においても2040年までに約20%の人口減少が推計されています。

「人口減少」と聞くと、どうしてもマイナスに捉えがちですが、今、人口減少が様々な問題を引き起こしつつあるのは、社会や経済の仕組みがそれに対応できていないからです。本当の豊かさとは何なのかを追求し、社会の仕組みや考え方を変える時に差し掛かっています。

大分県と大分市の将来推計人口（人）



国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」より

若さと行動力で 県政に向かって走ります



趣味の自転車で 県内を走っています

私は体力づくりを兼ねて、県内各地で自転車を走らせてきました。平坦な道も好きですが、長い上り坂を最後まで駆け上がるのも好きです。

きつい思いをしますが、無心で駆け上がり、のぼり着いたときの達成感は、日頃の生活にも活力を与えてくれます。



家族で登った久住山 私の大切な思い出です

家族で過ごした休日にも色々な思い出がありますが、2008年に家族で登った久住山は、私の大切な思い出です。山頂から眺めた美しい景色は、今でも忘れられません。

この大分の雄大で美しい自然を守り、次の世代にも残したいと思いました。



木田のぼる後援会

県政に向かって
走る！

【大分事務所】 〒870-0047 大分市中島中央1丁目4番33号
TEL 532-1001 / FAX 535-2225

【南大分事務所】 〒870-0888 大分市三ヶ田町3-4組 ステラコルテ1F (旧ほていやビル)
TEL 546-8006 / FAX 546-8007

《討議資料》